

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア（思考力・判断力・表現力）	イ（知識・技能）
【読む能力】文章を読んで理解したことなどに基づいて、自分の考えをもつこと	【書く能力】自分の考えを明確にし、考えが伝わるように書くこと

	児童の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
低学年	<ul style="list-style-type: none"> • しっかりした姿勢を保ち、最後まで集中して話を聞くことに課題が見られる。 その他 • 自分で文を読み、内容を正しく理解することについて個人差が大きい。 ア • 伝えたいことを順序立てて話したり、書いたりすることに苦手意識をもつ児童がいる。 イ • ひらがなやカタカナ、漢字を正しく読んだり、書いたりすることについて個人差が大きい。 その他 	<ul style="list-style-type: none"> • 聞く力を高めるために、話を聞く姿勢（体を向ける・目を見る）や態度の指導を徹底していく。 • スピーチの活動を取り入れ、接続語を適切に使いながら、順序だてて話すことを意識させる。 • 音読の練習に年間を通じて取り組む。 • 視写や文章を書く課題を取り入れ、書く習慣を身に付ける。書いた文章を読み返すことを意識させる。 • 「東京都ベーシック・ドリル」及び「アプリ版東京ベーシック・ドリル」、「ミライシード」を朝学習（ぐんぐんタイム）時に活用し、漢字の読み書き等の習熟を図る。 • 朝読書や図書の日を通して、本に親しむ機会を増やし、語彙力を高める。 	<p>通年</p> <p>単元ごと</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	

<p>中学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文の構成を意識し、何が大切なところか意識しながら教材文を読むことに課題が見られる。ア • 文章の表現を感じ取り、イメージすることが難しく、自分の考えや気持ちを表現豊かに文章に表せる児童とそうでない児童がいる。 • 音読・漢字の学習に意欲的に取り組んでいる。しかし、漢字の習熟には個人差が大きい。その他 	<ul style="list-style-type: none"> • 文章の読み取り方（文章の構成「はじめ・中・終わり」や登場人物の気持ちの変化や行動の読み取り、接続詞等）を明確に指導する。 • 朝読書や図書の時間を通して、本（学習まんがを除く）に親しみ、言葉や豊かな表現に触れる機会を増やす。 • 「東京都ベーシック・ドリル」及び「アプリ版東京ベーシック・ドリル」、「ミライシード」を朝学習（ぐんぐんタイム）時に活用し、漢字の読み書き等の習熟を図る。 	<p>単元ごと</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	
<p>高学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を捉える力に課題がある。ア • 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える力に課題がある。その他 • 文章全体の構成を捉えて、要旨を把握することを苦手とする児童がいる。イ • 漢字力、語彙力に個人差がある。その他 	<ul style="list-style-type: none"> • 図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き方を工夫して文章を書く活動を取り入れる。 • 自分の意見の根拠を明らかにし、他者の意見を聞きながら、比較したり考えを深めたりする活動を様々な場面で取り入れる。 • 文章全体の構成を視覚的に捉えさせ、事実や登場人物の気持ち、情景の描写などを文に即して丁寧に読み取る。 • 家庭学習を習慣付け、日々の学習での定着や小テストなどを通して、漢字の読み書きの習熟を図る。 • 「東京都ベーシック・ドリル」及び「アプリ版東京ベーシック・ドリル」、「ミライシード」を朝学習（ぐんぐんタイム）時に活用し、漢字の 	<p>単元ごと</p> <p>単元ごと</p> <p>単元ごと</p> <p>通年</p>	

		<p>読み書き等の習熟を図る。</p> <p>・朝読書や図書を通して、本に親しむ機会を増やす。</p>		
--	--	---	--	--

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>低学年：ペアで互いの話に関心を持ち、話をつなぐ。</p> <p>中学年：グループや学級全体で互いの考えを伝える。</p> <p>高学年：それぞれの立場から話し合い、考えを広げる。</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>全学年</p> <p>単元の終わりに学習を振り返り、何ができるようになったのかを自覚し、次の単元の学習に見通しをもって取り組めるようにする。</p>
---	--

算数

算数科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア思考力・判断力・表現力	イ知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などについて理解すること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎基本の定着に課題がある。 <input type="checkbox"/>イ ・ 数の構成の理解に課題がある。 <input type="checkbox"/>イ ・ 文章問題において、何を答えればいいのかを理解することに課題がある。 <input type="checkbox"/>ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「東京ベーシック・ドリル」及び「アプリ版東京ベーシック・ドリル」、「ミライシード」を朝学習（ぐんぐんタイム）時に活用し、基礎基本の習熟を図る。 ・ 具体物の操作を行う機会を設ける。 ・ 全体で、文章の意味を読み取る機会を設ける。 	・ 毎単元	
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習意欲と基礎基本の定着に個人差がある。 <input type="checkbox"/>イ ・ 問題解決方法を表現することに課題がある。 <input type="checkbox"/>ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味関心を引き出す導入を工夫する。 ・ 「東京ベーシック・ドリル」及び「アプリ版東京ベーシック・ドリル」、「ミライシード」を朝学習（ぐんぐんタイム）時に活用し、基礎基本の習熟を図る。 ・ 基礎基本を定着させるために、習熟度別学習の実施。 ・ 表現力を磨くためのペア学習やグループ学習を設定する。 	・ 毎単元	
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎基本の理解と定着に個人差がある。 <input type="checkbox"/>イ ・ 作図や四則混合計算、数量関係を捉えることに課題がある。 <input type="checkbox"/>ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「東京ベーシック・ドリル」及び「アプリ版東京ベーシック・ドリル」、「ミライシード」を朝学習（ぐんぐんタイム）時に活用し、基礎基本 	・ 毎単元	

	<p>•文章を読み取り、数量の関係を捉えて立式することに課題がある。ア</p>	<p>の習熟を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> •基礎基本を定着させるために、習熟度別学習の実施。 •視覚的に捉えさせたり、数についての感覚を豊かにしたりするために、数直線を活用する。 •みんなで考える活動の中で、解決過程の様々な方法を知って、次の学習に生かせるようにする。 		
--	---	--	--	--

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>低学年：具体物や定型文を用いて、考えを共有する活動。</p> <p>中学年：数学的表現を複数用いて、考えを共有する活動。</p> <p>高学年：目的に応じて、数学的表現を使い分け、考えを共有する活動。</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>全学年</p> <p>学んだことを定着させるために、適用問題に取り組む時間を設定する。</p> <p>次回の授業の見通しをもたせる。</p>
--	--

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア（思考力・判断力・表現力）	イ（知識・技能）
観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 意欲をもって観察する取り組みを行うが、細かく観察することに個人差がある。 （ア思考力・判断力・表現力 イ 知識技能） 生き物は好きだが飼育や栽培などへの取り組みになると個人差がある。（イ 知識・技能） 考えたことを自分の言葉で表現することが苦手である。 （ア 思考力・判断力・表現力） 生活経験の乏しさから観察面、作業面、表現面において個人差がある。（その他） 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに感覚を働かせる観察に取り組む。 学級園などの体験できる環境を整え、観察の機会を作る。 「なぜ」を大切に自ら解決し、考えたことを自分の言葉で表現する活動を増やす。 結果から分かったことを考察として文章にできるよう、毎回の予想、実験、結果、考察の流れを習慣付ける。 分からないことも自分なりに根拠をもって予想し、考える取り組みを増やす。話し合う活動を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎単元 	
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 学習の内容や活動においては、意欲的に取り組むが、生活に関連付けて予想したり、予想に対する考察をしたりすることが苦手である。（ア 思考力・判断力・表現力） 資料や表の読み取りが苦手である。（イ 知識・技能） 結果を知ることだけが「めあて」になってしまい、話し合いや議論の活動が、積極的にできない。 （ア 思考力・判断力・表現力） 実験で分かった結果の理由を根拠立てて説明することができない。（ア 思考力・判断力・表現力） 	<ul style="list-style-type: none"> 「予想」と「考察」などの思考の時間を十分にとる。 「予想」と「考察」をグループで話し合わせる。 「問題」「予想」「方法」「結果」「考察」「まとめ」などの一連の流れが分かるようなノート記載方法を示す。 「なぜ」その考えに至ったのか、根拠を基に説明できるような方法を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎単元 	

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>3年 様々な事象に対する疑問から学習問題を考える活動</p> <p>4年 学習問題に対する様々な予想を交流し合う活動</p> <p>5年 実験で分かったことを話し合い、考察を説明する活動</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>全学年</p> <p>単元の学習問題、1単位時間の学習課題に対する振り返りを書く時間を設定する。</p>
---	--

6年 予想・考察において話し合い、議論する活動

社会

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア（思考力・判断力・表現力）	イ（知識・技能）
・社会的事象について考えたことを、説明すること	・資料から必要な情報を読み取り、まとめること

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識及び技能の習得に課題がある。 イ ・グラフや図などの資料を読み取ったり、まとめたりすることに課題がある。 イ ・学習したことを自分たちの社会生活に生かそうとする態度に課題がある。 その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、学習の見通しと調べる視点を示してから、調査活動を行う。 ・調べる段階で、資料の読み取りを重点的に行う単元を設定する。 ・単元の導入では、身近な地域や市区町村に関連のある資料を提示し、動機付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元末 ・単元の導入 	
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたことやまとめたことを説明したり、表現したりすることに課題がある。 ア ・学習問題を追究・解決する時の調べ方、まとめる方法に課題がある。 イ ・主体的に問題を解決しようとする態度に課題がある。 その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を生かす単元を設定し、グループで対話するなど、学習過程を工夫・充実する。 ・学習問題を意識させ、調査活動の中に、比較したり、分類・統合したりする活動を入れる。 ・単元の導入では、課題解決への見通しをもたせ、写真・映像資料を用いて動機付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元末 ・単元の導入 	

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>3年 地域に見られる課題から学習問題を考える活動</p> <p>4年 調べて分かったことや考えたことを交流する活動</p> <p>5年 調べて考えたことを説明する活動</p> <p>6年 調べたことや考えたことを議論する活動</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>全学年</p> <p>単元の終わりに ICT 機器や思考ツールを使ってまとめたり、1 単位時間の終わりに、学習問題に対するまとめと振り返りを書いたりする時間を設定する。</p>
--	--